

1 国際文化交流都市圏

多摩川、鶴見川流域、多摩・三浦丘陵を一体としてとらえた、川崎・横浜、三浦半島を含む
県東部の地域

■ 地域政策圏形成の基本的方向

世界と神奈川の交流・結節地域として、世界とつながる産業と文化の発信都市をめざし、これまでの産業と文化の集積を生かした生活環境や生産環境を整備します。

横浜・川崎地区では、残された貴重な自然の保全や緑地の創造を図りつつ、土地の高度利用による効率的で良好な市街地を形成します。また、業務核都市の機能強化や臨海部の再活性化に配慮した土地利用を進めます。

横須賀三浦地区では、自然環境や歴史的風土の保全を図りつつ、道路網の整備など生活環境や生産環境を高める土地利用を進めます。



※ ○はおおよその対象地域を示したものです。

①京浜臨海部の再編整備

③都市緑化ベルトの整備

②三浦半島地域の整備

④相模湾沿岸地域の保全・創造

■ 各地区の施策の方向

I 川崎地区

時代を先駆ける国際環境創造都市・川崎

【施策の方向】

- 1 地域の活力があふれるまちづくり
- 2 快適で安全な暮らしを支えるまちづくり
- 3 環境にやさしいうるおいのあるまちづくり

II 横浜地区

世界に開かれた文化芸術創造都市・横浜

【施策の方向】

- 1 国際性豊かな交流・集客のまちづくり
- 2 うるおいのあるみどり豊かなまちづくり
- 3 心豊かな暮らしを彩る県民活動の支援

III 横須賀三浦地区

— 海・みどり、歴史、活力 — まるごと公園半島

【施策の方向】

- 1 海とみどり豊かな半島づくり
- 2 産業の活力あふれる半島づくり
- 3 やすらぎ・うるおい・にぎわい半島づくり

■ 広域的な取組みの方向

○京浜臨海部の活性化

■日本を代表する工業地帯として神奈川の経済活動をけん引してきた①京浜臨海部の再編整備を一体的に進めるため、地元企業や国、横浜市、川崎市などと連携し、環境や防災に配慮した新しい地域像、産業像に対応した土地利用と交通基盤整備の促進、既存産業の高度化、活性化と新たな産業の創出・集積を進めながら雇用の創出を図ります。

○川・山・みどり・海岸の自然の連なりを生かした保全と活用

■横浜市南部から三浦半島全域にかけて広がる豊かな自然や景観、貴重な歴史的文化遺産を活用した「うるおい」「にぎわい」「活力」ある三浦半島の創造をめざした地域づくりを進めるとともに貴重なみどりを保全するための取組みなど、②三浦半島地域の整備を進めます。

■多摩川、鶴見川流域、多摩・三浦丘陵の貴重なみどりの保全と、積極的なみどりの創造に取り組み、③都市緑化ベルトの整備を図ります。

■豊かな自然環境や中世の古都鎌倉を中心とした史跡、近代の保養所・別荘の立地などの歴史・文化、特筆すべき景観など相模湾沿岸の地域資源を守り、生かし、発信するための地域づくりを県民と行政が協働・連携して進めていくことで④相模湾沿岸地域の保全・創造を図ります。